

# はじめに

平成13年度（2001）から平成22年度（2010）までの10か年を計画期間とする「北広島市総合計画」も残すところ3か年となりました。

これまでの第1次、第2次実施計画では、地方分権が進む中、国庫補助金の見直しや地方交付税の削減など厳しい財政状況ではありましたが、障がい者や高齢者福祉の推進、子育て支援の実施、市民参加や協働の推進、夢プラザや西部小学校移転改築、大曲幸地区の区画整理、情報通信基盤の整備、自転車道の整備や新工業団地への着手など、総合計画で目指すまちづくりに向け施策を行ってきたところであります。

依然として厳しい財政状況にある中で、第3次実施計画では、総合計画の最後の計画として社会情勢の変化、市民ニーズや地域課題などを踏まえ可能な限り事業の構成を検討してまいりました。

特に、市役所庁舎や保健センター、総合運動公園など、これまで課題であった事業について、今後の整備の道筋となるよう計画したほか、環境や防災などについても事業の推進を図ってまいりたいと考えております。

総合計画で掲げている、めざす都市像「健康安心都市」、「交流文化都市」、「活力発展都市」を実現するため、この計画を着実に推進してまいりたいと考えております。市民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

平成20年2月

北広島市長 上野正三